

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年12月14日

【四半期会計期間】 第16期第2四半期(自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレージ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期 連結累計期間	第16期 第2四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日	自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日	自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日
売上高 (百万円)	4,632	5,377	9,642
経常利益 (百万円)	251	233	534
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	160	198	314
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	159	200	316
純資産額 (百万円)	1,876	2,212	2,054
総資産額 (百万円)	3,488	4,482	4,144
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	26.79	33.52	52.63
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	25.68	32.73	49.74
自己資本比率 (%)	53.7	48.7	48.9
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	80	48	473
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	128	125	380
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	101	151	25
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	946	1,117	1,144

回次	第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日	自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.61	10.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は平成29年10月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトが、株式会社足立製作所の全発行済株式を取得し子会社化することを決議し、平成29年11月1日付で株式を取得し子会社化いたしました。

なお、詳細につきましては「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりです。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しております。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、米国や欧州の政治情勢の不安定さや地政学的な不安の高まりなどといった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。美容業界におきましても、顧客単価の下落、店舗間競争の激化、新卒美容師の減少、小規模サロンの後継者不足など、サロン経営において厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループではリピート商材の拡充による「フロー&ストック型収益構造」への転換及びサロン向け「開業+経営支援」のサービス領域拡大を目的として、各種取組を継続的に実施しました。

当第2四半期連結累計期間には、美容業界最大のイベント「Beauty World Japan2017」への出展、大阪総合ショールームの開設、通販カタログ誌「BG STYLE」3種の発刊に加え、株式会社ジャックスと共同で積立制度を構築し、積立金額に応じてボーナスがつく「BEAUTY GARAGE スマート積立」の募集を行うなど、積極的なプロモーションと販路拡大施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,377,375千円（前年同期比16.1%増）、売上総利益は1,741,046千円（前年同期比12.4%増）、営業利益は228,891千円（前年同期比17.7%減）、経常利益は233,538千円（前年同期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は198,985千円（前年同期比24.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

累計登録会員総数は328,266口座（前年同期比10.7%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は94,901口座（前年同期比9.2%増）、ロイヤルユーザ数（過去1年間で6回以上購入したユーザ数）は21,959口座（前年同期比25.1%増）となり、リピート顧客の増加が顕著となりました。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の7割超を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しております。EC経由売上高は前年同期比23.5%増と伸びいたしました。

また、当第2四半期連結累計期間におきましては、ネイル・まつ毛材料をはじめとして理美容化粧品やエステ化粧品など、化粧品・材料の売上高が全般的に好調に推移し、前年同期比33.0%増と物販事業売上高の前年同期比を大きく上回りました。

この結果、当事業の売上高は4,086,037千円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は309,831千円（前年同期比4.5%減）となりました。

### 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

ビューティガレージグループとしての連携強化と積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加し、当事業の売上高は1,181,587千円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益は64,981千円（前年同期比58.7%増）となりました。

### その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リースサービス等の、各種ソリューションメニューを各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。当該その他周辺ソリューション事業においては、単体での収益化以上に、当社の主力事業である物販事業や店舗設計事業への入り口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようにしております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗リース、保険サービスは堅調に伸長しましたが、集客支援サービス、採用支援サービスなどが前年割れとなった影響が大きく、当事業の売上高は109,750千円（前年同期比15.6%減）、セグメント損失は6,629千円（前年同期は13,524千円の利益）となっております。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、3,719,065千円となりました。これは、主に棚卸資産及び前渡金の増加によるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて16.1%増加し、763,838千円となりました。これは、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産の増加によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、1,895,160千円となりました。これは、主に一年以内返済予定の長期借入金、未払費用、前受金及び賞与引当金の増加によるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて49.3%増加し、375,487千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、2,212,255千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少41,828千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加198,985千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ26,793千円減少し、1,117,529千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、48,212千円（前年同期は80,080千円の資金増加）となりました。これは、主にたな卸資産の増加、仕入債務の減少及び法人税等の支払額の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、125,666千円（前年同期は128,579千円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、151,466千円（前年同期は101,712千円の資金減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いがあったものの、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	1,025,082	+24.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
物販事業	2,818,471	+25.5
その他周辺ソリューション事業	11,887	68.6
合計	2,830,359	+24.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	1,181,587	+32.6	449,188	+115.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	販売高(千円)		前年同四半期比(%)
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
物販事業		3,566,757	4,086,037	+14.6
	理美容機器	2,319,278	2,426,316	+4.6
	化粧品等	1,247,479	1,659,720	+33.0
店舗設計事業		935,265	1,181,587	+26.3
その他周辺ソリューション事業		130,027	109,750	15.6
合計		4,632,049	5,377,375	+16.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,160,000
計	21,160,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年12月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,976,000	5,976,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	5,976,000	5,976,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年8月1日～ 平成29年10月31日		5,976,000		269,745		221,012

(6) 【大株主の状況】

平成29年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	1,800,000	30.1
供田 修一	東京都杉並区	770,000	12.8
野村 貴久	東京都世田谷区	290,000	4.8
高橋 慧	東京都新宿区	282,500	4.7
樺島 義明	東京都中央区	250,000	4.1
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東 京支店 カストディ業務部 Senior Manajor,Operation 小松 原英太郎)	50 BANK STREET CANARY WH ARF LONDON E14 5NT,UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	240,900	4.0
GOLDMAN SACHS & CO.REG (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社 代表取 締役社長 持田昌典)	200 WEST STREET NEW YORK,NY,USA (東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ森タワー)	234,500	3.9
森實 厚裕	愛知県大府市	100,000	1.6
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 (常任代理人 株式会社みずほ銀 行決済営業部)	USNY 225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK, U.S.A. (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	96,200	1.6
勝 憲司	東京都港区	80,000	1.3
計	-	4,144,100	69.3

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,974,800	59,748	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	5,976,000		
総株主の議決権		59,748	

## 【自己株式等】

平成29年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビューティガ レッジ	東京都世田谷区桜新町一丁 目34番25号	400		400	0.0
計		400		400	0.0

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年8月1日から平成29年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年5月1日から平成29年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,144,323	1,117,529
受取手形及び売掛金	837,384	817,304
商品	1,044,557	1,167,965
仕掛品	141,931	137,806
その他	337,845	504,561
貸倒引当金	19,846	26,103
流動資産合計	3,486,194	3,719,065
固定資産		
有形固定資産	123,542	158,148
無形固定資産		
ソフトウェア	37,450	42,175
ソフトウェア仮勘定	204,700	246,186
その他	116	116
無形固定資産合計	242,266	288,478
投資その他の資産	292,214	317,211
固定資産合計	658,024	763,838
資産合計	4,144,218	4,482,904
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	762,646	633,401
短期借入金	29,170	19,174
1年内返済予定の長期借入金	127,834	199,920
未払法人税等	140,342	87,245
賞与引当金	34,231	131,251
製品保証引当金	9,921	6,988
受注損失引当金	1,679	1,717
株主優待引当金	3,240	1,620
資産除去債務	571	-
その他	729,004	813,842
流動負債合計	1,838,638	1,895,160
固定負債		
長期借入金	90,645	221,701
ポイント引当金	51,770	54,403
資産除去債務	42,739	43,946
その他	66,382	55,437
固定負債合計	251,536	375,487
負債合計	2,090,174	2,270,648
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	220,512	220,512
利益剰余金	1,536,791	1,693,948
自己株式	274	274
株主資本合計	2,026,774	2,183,930
新株予約権	236	-
非支配株主持分	27,033	28,325
純資産合計	2,054,043	2,212,255
負債純資産合計	4,144,218	4,482,904

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	4,632,049	5,377,375
売上原価	3,083,438	3,636,329
売上総利益	1,548,611	1,741,046
販売費及び一般管理費	1 1,270,533	1 1,512,155
営業利益	278,078	228,891
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	47
受取手数料	627	471
為替差益	-	4,276
その他	843	1,023
営業外収益合計	1,493	5,819
営業外費用		
支払利息	450	467
為替差損	9,779	-
障害者雇用納付金	-	640
市場変更費用	16,770	-
その他	1,009	65
営業外費用合計	28,008	1,172
経常利益	251,562	233,538
特別利益		
新株予約権戻入益	-	236
固定資産売却益	132	-
特別利益合計	132	236
特別損失		
和解金	-	489
特別損失合計	-	489
税金等調整前四半期純利益	251,695	233,285
法人税、住民税及び事業税	120,092	70,109
法人税等調整額	27,995	37,102
法人税等合計	92,097	33,007
四半期純利益	159,598	200,277
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	465	1,292
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,063	198,985

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	159,598	200,277
四半期包括利益	159,598	200,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,063	198,985
非支配株主に係る四半期包括利益	465	1,292

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	251,695	233,285
減価償却費	17,432	25,033
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,754	2,933
ポイント引当金の増減額(は減少)	4,695	2,632
製品保証引当金の増減額(は減少)	1,666	6,257
株主優待引当金の増減額(は減少)	1,426	1,620
その他の引当金の増減額(は減少)	77,260	97,058
受取利息及び受取配当金	22	47
支払利息	450	467
有形固定資産除売却損益(は益)	132	-
売上債権の増減額(は増加)	23,794	6,300
たな卸資産の増減額(は増加)	33,402	119,282
仕入債務の増減額(は減少)	125,025	109,176
前渡金の増減額(は増加)	21,968	105,222
未払金の増減額(は減少)	6,138	34,879
前受金の増減額(は減少)	86,333	147,656
新株予約権戻入益	-	236
その他	68,377	71,496
小計	158,667	74,268
利息及び配当金の受取額	22	47
利息及び保証料の支払額	475	495
和解金の支払額	-	489
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	78,133	121,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,080	48,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	600	-
有形固定資産の取得による支出	28,492	52,832
有形固定資産の売却による収入	150	-
無形固定資産の取得による支出	96,760	61,732
投資有価証券の売却による収入	10,005	1,000
関係会社株式の取得による支出	3,060	-
敷金保証金の差入による支出	5,667	25,701
敷金保証金の回収による収入	17,195	13,886
資産除去債務の履行による支出	558	-
その他	780	286
投資活動によるキャッシュ・フロー	128,579	125,666
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	15,000
短期借入金の返済による支出	7,500	24,996
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	60,242	96,858
配当金の支払額	33,470	41,679
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	500	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,712	151,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	4,381
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	150,073	26,793
現金及び現金同等物の期首残高	1,096,440	1,144,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 946,367	1 1,117,529

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社サロンキャリアは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅しているため、第1半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)
給料手当	294,896千円	324,951千円
賞与引当金繰入額	69,072 "	85,746 "
貸倒引当金繰入額	2,805 "	8,323 "
ポイント引当金繰入額	44,094 "	46,935 "
製品保証引当金繰入額	11,016 "	3,951 "
株主優待引当金繰入額	1,620 "	838 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)
現金及び預金	951,587千円	1,117,529千円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,220 "	"
現金及び現金同等物	946,367千円	1,117,529千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年7月27日 定時株主総会	普通株式	33,463	5.60	平成28年4月30日	平成28年7月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月19日 取締役会決議	普通株式	41,828	7.00	平成29年4月30日	平成29年7月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,566,757	935,265	130,027	4,632,049	-	4,632,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,480	12,572	13,800	122,853	122,853	-
計	3,663,237	947,838	143,827	4,754,903	122,853	4,632,049
セグメント利益	324,557	40,938	13,524	379,021	100,943	278,078

(注) 1. セグメント利益の調整額 100,943千円には、セグメント間取引消去11,789千円、未実現利益の調整額 6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 112,725千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,086,037	1,181,587	109,750	5,377,375	-	5,377,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191,960	31,043	31,910	254,913	254,913	-
計	4,277,997	1,212,630	141,661	5,632,289	254,913	5,377,375
セグメント利益	309,831	64,981	6,629	368,184	139,293	228,891

(注) 1. セグメント利益の調整額 139,293千円には、セグメント間取引消去14,038千円、未実現利益の調整額 2,126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 151,205千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	26.79 円	33.30 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	160,063	198,985
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	160,063	198,985
普通株式の期中平均株式数(株)	5,975,595	5,975,556
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	25.68 円	32.52 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	256,401	143,232
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

平成29年10月19日開催の取締役会において、当社100%子会社の株式会社タフデザインプロダクトが株式会社足立製作所の全株式を取得し子会社(当社の孫会社)とすることを決議し、平成29年11月1日にて、株式を取得し子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社足立製作所

事業内容 金属製器具・用品の製造販売

資本金の金額 10,000千円

企業結合を行った主な理由

足立製作所は、高度な金属加工技術と柔軟な発想を基にした「ものづくり」と多品種少量生産を得意とした、金属製家具・用品の製造から販売までを手掛けている企業です。足立製作所の株式取得により、タフデザインプロダクトのデザイン力と足立製作所の金属加工技術を組み合わせることによる商品開発力の向上はもとより、自社グループ内での日本製製品の製造体制が構築されることになり、企業価値の更なる向上に資すると判断し、足立製作所の全発行済株式を取得し、当社の孫会社とすることにいたしました。

企業結合日 平成29年11月1日

企業結合の法的形式 現金を対価とする全株取得

企業結合後の名称 変更ありません。

取得した議決権比率 100.0%

取得企業を決定するに至った主な根拠 当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価

現金 275,000千円

取得原価 275,000千円

(3) 主要な取引関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 27,000千円

- ( 4 ) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
- ( 5 ) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳  
現時点では確定しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年12月14日

株式会社 ビューティガレッジ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	上	亮	比	呂
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	山	太	一	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの平成29年5月1日から平成30年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年8月1日から平成29年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年5月1日から平成29年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の平成29年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。